



伝統文化・伝承の

「こころ」を誇りに

～新しい年を前に想う～



校長 島野 歩

早いもので、令和4年も残すところあと1か月となりました。師走、1年の締めくくり。樹々がはらはらと葉を落とし冬支度をするように、世の中も何かとあわただしい日が続くようになります。学校も2学期末を迎えますが、気持ちを落ち着かせ、学習の「まとめ」をしっかり積み上げていきたいと思えます。

年末年始は、普段はなかなか意識することのない「**伝承・伝統文化の誇りや尊さ**」をしみじみ感じる時期でもあります。年越しの伝承としきたり、年初めのお正月行事。本校でも、12月16日には5年生が**お正月玄關飾り作り**、12月20日には6年生が**餅つき**に取り組めます。

過日11月24日25日は、5年生6年生が、茶道の中澤宗寿先生の御指導のもと、茶道教室に参加いたしました。静寂の中、お茶の窯から湯の立つ心地よい音が響きます。「主人」と「客」になり、立ち居振る舞い、所作すべてが、相手に対する「**おもてなし**」の気持ちにもとづいたものであることを学びました。自然と背筋がぴしっと伸び礼のしかたが深いものへと変化する子どもたち。感想には「**心が清められる時間でした**」と書かれてありました。まさに言葉通りのひとときです。**奥深い伝統文化「茶道」**に触れた子どもたちでした。

5,6年生 茶道教室

茶道の中澤宗寿先生の御指導のもと、「おもてなし」の心とお作法を学びました。心が清められます。



茶道教室といい、お正月玄關飾りといい、日本の伝統文化を語りお導きくださる「**師**」が身近にいてくださることをとても幸せに思います。なぜなら、最近では、12月13日の「お正月ことはじめ」の「すす払い」をはじめとし、日本の伝承やしきたりに触れることが圧倒的に少なくなったからです。時代の移り変わりはあるものの、昔から嗣がれてきた「**こころ**」は、これからも子どもたちと共に感じていきたいと思っています。「**日本のこころ**」を。

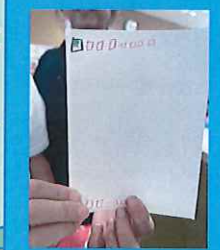
2年生運営！文教ゆうびん局

2年生 文教ゆうびん局 開局！

ふだん何気なく手にしているお手紙やお葉書！
「いったい どんなふうにして 家に届けられる
のかな？」・・・2年生の生活科では、身近な
お手紙を題材に、郵便局のお仕事について調べ
実際に子どもたちが「ゆうびん屋さん」になり
「文教ゆうびんきょく」を開局しました。

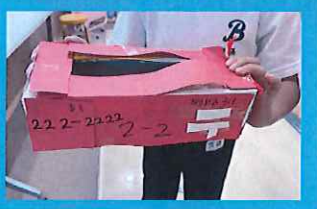


*「ゆうびん屋さんって大変なんだね」・・・見て聞いて、でも実際にやってみるとさあ大変！なにせ、330人の全校児童と34人の教職員が相手ですから、それはもう大忙し！実際に「文教ゆうびん局」を運営することで、郵便の流れがつかめました。そして何より郵便屋さんのお仕事の大変さをあらためて実感したことと思います
2年生のみなさん、すばらしい「文教ゆうびん局」をありがとう！



すべてが手作り！

ポストも全クラス分の郵便受けもすべて手作り！



集配したはがきには
手作りのスタンプが押されます！
ぎっしり詰まったポストから集配。
一枚一枚にかわいい手作りスタンプが！

「いらっしゃいませ！はがき売ります！」

一枚一枚手作りのすてきなはがきを
2年生が分担で売ります。
はがきの値段は大サービス0円！



「郵便です」各クラスに配達！

かわいい2年生の郵便屋さんが元気に配達して
くれます。うれしいな。うれしいな。

2年生おつかれさまです！

◆授業参観:保護者の皆様からのアンケート(10月6・7日)

お声をお寄せいただき心から感謝申し上げます◆

~保護者の皆様の声・声・声(一部抜粋)~たくさんのお声をありがとうございます。

*本来であれば、いただいたお声を全て掲載させていただきたいところではございますが誌面の関係上、大変申し訳ございません。しかしながら、いただいたお声は、全教職員と全て共有させていただき、今後の教育活動に活かしていくべく検討してまいります。お声を寄せてくださいましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

○子どもが、学校に行くことを楽しみにしていること、家でいつも「ありがとう」と言ってくれる理由がわかりました。先生のこと大好きで、そして何かあればすぐに先生が「ありがとう」と子どもに言うてくださっていたからでした。ありがとうございます。

○どの教科も子どもたちに考えさせる時間があり、とても良いなと思いました。とくに算数では、容積が体感できて、水があふれてこぼれたりを通して、子どもたちの心に強く印象に残ったと思います。家庭では、ついヒントや近道を教えてしまい、失敗する機会さえうばってしまいがちなので、大変ありがたかったです。そして、何より、こぼれた水を拭く子、倒れないように押さえる子、共働の中に学びがあり、素敵だなと思いました。



○算数に苦手意識がある娘が頑張っているのは、イメージしやすい身近なものを織り交ぜて進めてくださる担任の先生と一人一人をまわって励ましてくださるT2の先生のおかげです。本当にありがとうございます。

○参観日を2日間設けていただいたことで、家庭内で「算数と英語は苦手だから来てほしい」「国語は得意だから来てほしい」など、子どもの本音を聞くことができました。Zoomと合わせて全ての教科を参観することができました。ありがとうございます。

●体育では、限られたスペースで少しでも終了時に発散できたと感じられる、もしくは何を目的として行っているかが明確である必要があると思うが、子どもたちの飽きや統制がとれていないように感じた。⇒普段は校庭もしくは講堂で行っている体育ですが、この日は、特別授業で講堂を使用しており、雨天で校庭も使用できなかったため、教室での体育となってしまいました。ご指摘いただきました点はおっしゃられる通りです。今後は、学年相互の使用場所を念頭に入れながら、子どもたちの充実した授業が組める時間割を組んでいきたいと存じます。

●我が子に関しては、まだ挨拶や感謝の気持ちをあらわすことが不十分だと感じる事が多く、自ら率先し挨拶や礼儀を身に付けてほしいと思います。

⇒「あいさつ」は、本校の「文教っ子八か条」の第一条に挙げ、豊かな心の醸成に欠かせない大切な事柄であるとしてとらえています。普段の学校生活、家庭生活の中で、保護者の方と意識を同じくして指導していけたらと願っています。引き続き指導を継続してまいります。そして、子どもたちのお手本となるべく、我々教職員大人側も気持ちの良い挨拶を心がけていきたいと思ひます。

○理科では、短い授業の中、実験してくださってありがとうございます。理科はぜひ実験し、体験させて子どもたちに学ばせていただく機会を今後も増やしてほしいです。（ご準備など大変だとは思いますが、よろしくお願いいたします。）

○ファミリーeルールについては、子どもと一緒に聞かせていただけましたことを感謝いたします。今後、身近になっていく問題を大人も知り、家族で話せるきっかけとなりました。ただ、だめでなく、何に気を付けたらいいのかがわかりやすかったです。インスタ、LINEなどの危険なところなどは、もう少し意識させるような内容を取り込んでいただけるとありがたいです。⇒本校でも、パソコンを子どもたちに提供している以上、

「モラル教育」はとても重要ととらえております。一人一台のPC導入と同時に、1年生から6年生までの系統的な「文教大学付属小学校版モラル教育」も継続して実践してきました。今後もデジタル機器が便利な一方で、モラルをもって使用することの大切さを発達段階に応じて指導してまいります。

●写真やビデオ撮影はよかったですでしょうか。

⇒子どもたちの肖像権や個人情報を守るためにも、写真撮影やビデオ撮影は、厳しく禁止いたします。授業参観の際も、複数回放送にてアナウンスさせていただきましたが、あらためましてご周知ならびにご理解の程よろしくお願い申し上げます。また、Zoomで配信させていただいております画像につきましても、在校生以外の方々や外部の方との共有は厳しく禁止いたします。

○ユニセフの授業、すばらしかったです。知識を得るだけでなく、考えさせる授業は、家庭学習では得られないものです。その後の授業でも、考えをアウトプットする流れが作られていて、この環境にいる我が子をうらやましく感じました。ありがとうございます。

○教室の中で、子どもたちの後ろ姿を見ているだけで、感謝の気持ちでいっぱいになりました。授業での先生と子どもたちのやりとり、感嘆の声、笑い合う姿を見ることができて、御校の良さは、そこに集う人たち（子どもたちや先生方）になるのだな、とあらためて感じました。



～学校公開アンケート結果～ 回答数 266/330 回収率 80.0%

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1 お子様は、意欲的に学習に取り組んでいる。 | 95.4p |
| 2 お子様は、学級でまとまって楽しく活動している | 94.2p |
| 3 お子様は、あいさつなどの礼儀を身に付け落ち着いている。 | 93.6p |
| 4 教師は、授業展開を工夫し、学力向上の努力をしている。 | 94.6p |
| 5 作品や掲示物が工夫され、学習環境が整っている。 | 95.1p |
| 6 教室は整理・整頓され、廊下などの清掃が行き届いている。 | 95.8p |

◆集計方法：4：そう思う（100P） 3：ややそう思う（75P）

2：あまりそう思わない（25P） 1：思わない（0P）

P・・（4の総数×100+3の総数×75+2の総数×25+1の総数×0）÷
有効回答数

12月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
			1	1	2	3 伝統芸能鑑賞会 (クイチャパラダイス)
4	5	6 社会科見学(6年)	7	8 避難訓練	9	10 父母の会講演会
11	12	13	14	15 車いすバスケット(4年)	16 5年生 お正月飾り作り	17
* 12日よりB時程		希望個人面談				
18	19 終業式	20 餅つき(6年)	21 6年 冬季補習6日間	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

12月の生活目標

重点目標 <文教っ子ハケ条 第七条 困っている友達に進んで声をかけることができること>

◎ 言葉づかいに気をつけよう

◎ 進んで仕事をしよう

- ・ 相手を思いやった言葉づかいをする。・丁寧な言葉づかいをする。
- ・ 係や当番、委員会の仕事を進んでやる。

日頃の言葉づかい見直してみましょう <文責：教頭田中 宏一>



少し思いうかべてみてください。相手を思いやった言葉遣いとはどんな言葉でしょうか。一言一言声に出す前に考えて、ていねいに話せばいいのでしょうか。難しくなかなか自然にできるものではありませんね。ご家庭でも振り返ってみる機会としていただければと思います。

一つ例を挙げます。マスクを通して話をするとき、マスクで声が小さくなり、話している内容が聞き取れなかったことはありませんか。そんな時、どのように聞き直せばよいでしょう。「なに？」とか「え？」と聞き直しますか。「声が小さくて聞こえないよ。」「聞こえませんが！」と聞き直しますか。それとも、「ごめん、聞き逃しちゃった、もう一度言って。」といった感じになるのでしょうか。聞き方はいろいろあると思います。そこで、考えてほしいことは、相手を思う気持ちです。ひょっとしたら、相手は一生懸命に話している途中かもしれません。その時に「なに？」とか「え？」とだけ言われて話を切られたらどんな気持ちになるのでしょうか。相手は、一生懸命に話していればいるほど、良い気持ちにはならないでしょう。

ちなみに英語で聞き逃したときに、どういう言い方が調べてみたところ、こちらも、いろいろと言いはあるようでしたが、Sorry?やExcuse me could you repeat that. と言うようです。どちらにも「(聞き逃して) すみませんが。」という気持ちが入ります。聞き逃してしまうことはよくあることです。もう一度言ってもらうことは決して悪いことではありませんが、相手の言い方が悪かったように聞こえてしまう「なに？」「え？」という一言では、済ませないようにしたいですね。2学期のまとめの、12月です。言葉づかいにも、気を付けて2学期のまとめをしてください。

車での送迎につきましてのお願い

日頃より、車での送迎につきましては、ご協力いただきありがとうございます。朝、子どもたちの元気なあいさつが、一日のスタートを気持ちよくすることができます。また2学期、送迎に対するご近隣からの相談のお電話もありませんでした。何度もお願いになりますが、引き続きまして送迎の為の停車の際、交差点近く、玄関前、小学校の白いフェンスの横には停車をご遠慮していただきますようよろしくお願いいたします。

子どもたちも、保護者の皆様も、ご近隣の皆様も、皆さんが気持ちよく毎日を過ごせますように、引き続きのご協力を